

緊急書き下ろし出版

福島原発事故・原発政策を
“社会科学”“地方自治”から問う唯一の書

原発になお地域の未来を託せるか

福島原発事故—利益誘導システムの破綻と地域再生への道

清水修二（福島大学副学長） 著 定価1680円

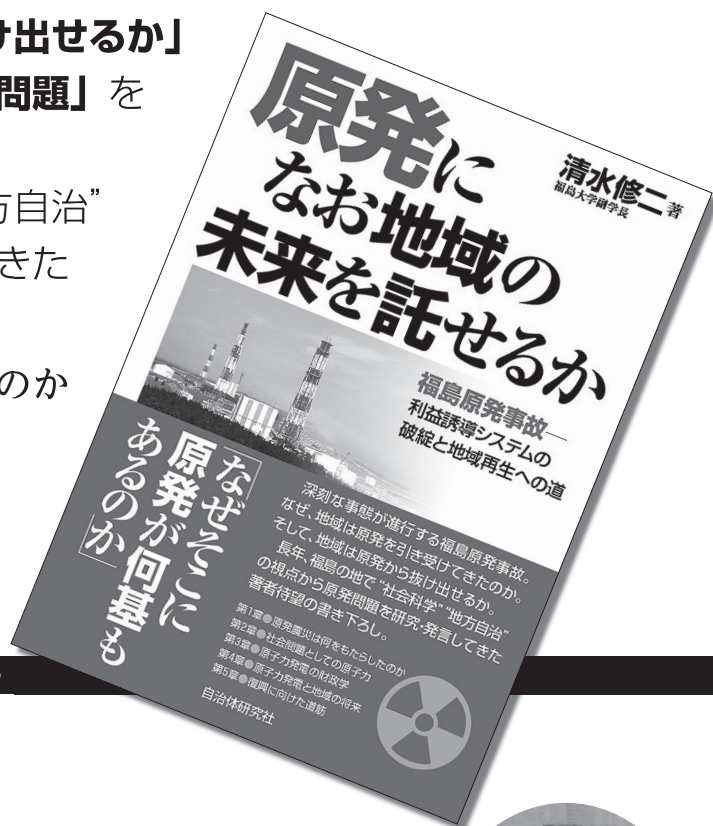
深刻な事態が推移する福島原発事故。

「なぜそこに原発が、しかも何基も存在するのか」「なぜ地域は原発を引き受けてきたのか」「原発依存から地域は抜け出せるか」

…このような「社会問題としての原発問題」を明らかにする。

長年、福島の地で“社会科学”“地方自治”の視点から原発問題を研究・発言してきた著者待望の書き下ろし。

- 第1章 原発震災は何をもたらしたのか
- 第2章 社会問題としての原子力
- 第3章 原子力発電の財政学
- 第4章 原子力発電と地域の将来
- 第5章 復興に向けた道筋



著者プロフィール

1948年東京都生まれ

京都大学大学院経済学研究科博士課程満期退学

現国立大学法人福島大学理事・副学長

『差別としての原子力』（リベルタ出版、1994年）、『動燃・核燃・2000年』（編著、リベルタ出版、1998年）『NIMBYシンドローム考』（東京新聞出版局、1999年）、『臨界被曝の衝撃』（共著、リベルタ出版 2000年）をはじめ、原子力関連の著書・論文多数。



お問合せ・申込み先

自治体研究社

〒162-8512 新宿区矢来町123 矢来ビル4F

TEL: 03-3235-5941 / FAX: 03-3235-5933

http://www.jichiken.jp/ E-Mail: info@jichiken.jp

申込み書

ふりがな			書名	冊数
お名前			原発になお地域の 未来を託せるか	
連絡先	〒			
TEL		FAX		

冊